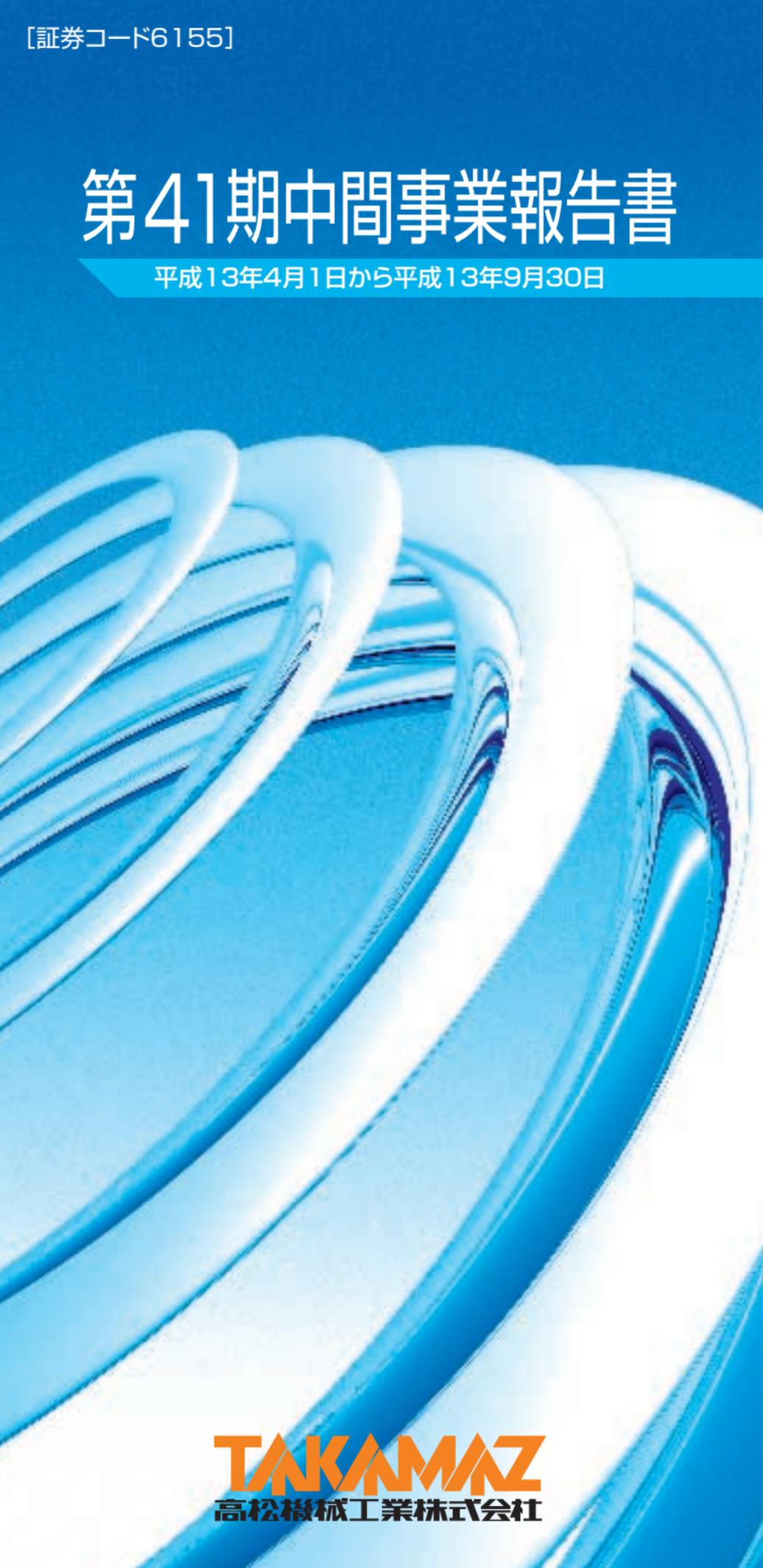


[証券コード6155]

第41期中間事業報告書

平成13年4月1日から平成13年9月30日



TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成13年9月30日をもちまして第41期上半期(平成13年4月1日から平成13年9月30日)を終了致しましたので、ここに営業の概況ならびに中間決算の状況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当上半期の市場動向および成果

当上半期におけるわが国経済は、依然として個人消費の回復は見えず、日経平均株価は一時一万円台を割り込むなど低迷が続き、景気後退の懸念が一層強まりました。

工作機械業界におきましては、自動車業界の底堅い設備投資意欲により受注が下支えされる一方で、世界的な情報技術(IT)産業の不振の影響が大きく、今後の景気に対する不透明感が強いため、業界全体の受注額が2001年4月～9月の6ヶ月連続で前年対比を下回るという、厳しい状況におかれています。

このような状況の中で、当社と致しましては、一貫した営業方針として、「お客様に稼ぐ機械を提供する」をモットーに構想設計チームによる提案型営業を積極的に行い、タカマツのトータル自動化システムを提案し、主に国内外の自動車業界を中心に、各ユーザーニーズに合わせた仕様の商品群を提供してまいりました。4月にはMEX金沢にて従来の当社主力商品「X-10 Hi server」をより高性能・高品質にチェンジした「X-10 i」を発表し、大変な好評を得ております。また、中・大型商品をシリーズ化して販路の拡大を目指す為に、8月に日立精機株式会社との間で業務提携(一部の機械の相互供給契約)を締結致しました。

しかしながら、受注高は42億1百万円と、前年同期と比べ、13億85百万円(24.8%)の減少となりました。受注残高につきましては28億31百万円であり、前年同期と比べ、2億82百万円(9.1%)の減少となっております。

当上半期の売上高につきましては、前期の多額の受注残の影響もあり、47億78百万円(前年同期比4.4%増)となりました。そのうち内需は39億79百万円(同6.3%増)であり、外需

は7億99百万円(同3.7%減)でした。しかし、受注確保の為の価格競争が熾烈化した為に、原価低減・経費削減の効果以上に売上原価が上昇し、まことに遺憾ではあります。営業利益が1億86百万円(同48.4%減)、経常利益が1億83百万円(同47.2%減)、当期純利益が89百万円(同49.6%減)の増収減益という結果となりました。

今後の見通し

工作機械業界において、IT関連業界の低迷による景況感の悪化が、比較的堅調だった自動車業界にも波及しはじめ、日本工作機械工業会では、2001年(暦年ベース)の受注見通しを1兆5百億円から8千億円へと下方修正しております。

そのような経営環境の中で当社も、今期予想を売上高98億円、経常利益4億60百万円、当期利益2億30百万円と修正させて頂きました。

下期は、受注強化策として、国内外においての展示会の参加や各ディーラーでのプライベートショーを数多く予定しているほか、アジア・アメリカの市場に力を入れていきます。また、9月には新たに生産改革チームを設置して一層の納期短縮及び生産性・品質の向上に努めておりますし、10月には名古屋で行われた展示会、MECT2001で新商品の高精度加工機「SX-07」を発表し、好評を頂いております。

今後も、お客様第一主義の理念を柱に、積極的な提案型営業を指向すると共に、新商品の開発や、新分野の拡大に力を入れ、業績の向上に取り組んでまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年12月



代表取締役会長

川江豊吉



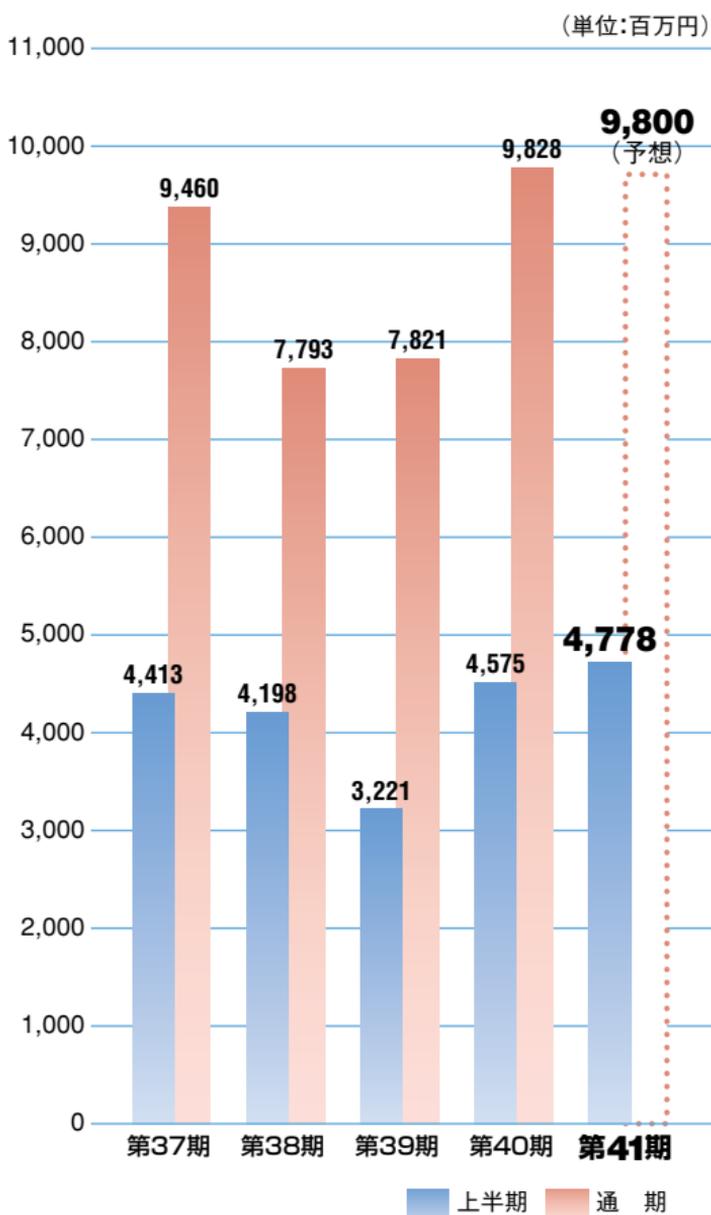
代表取締役社長

高松喜与志

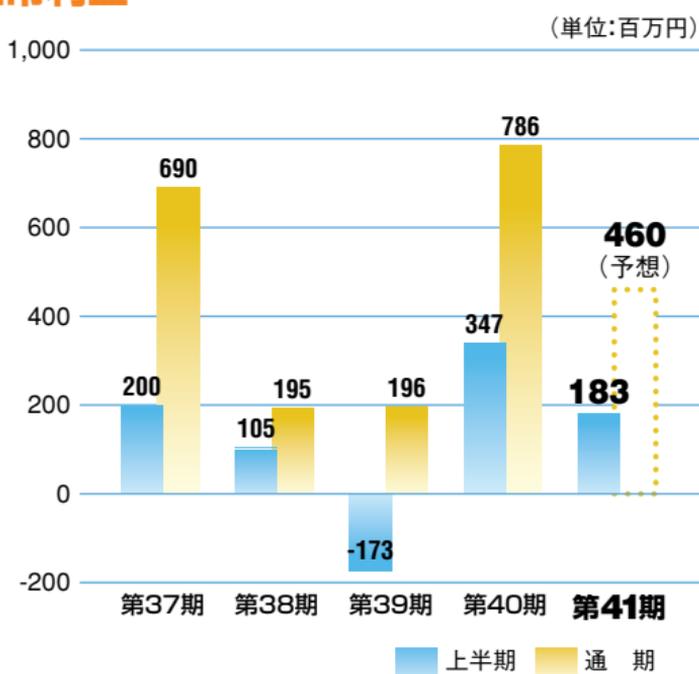
業績の推移

「お客様に稼ぐ機械を提供する」を方針として、積極的な提案型営業を行い、売上高は増加いたしました。が、経常利益は減益となりました。

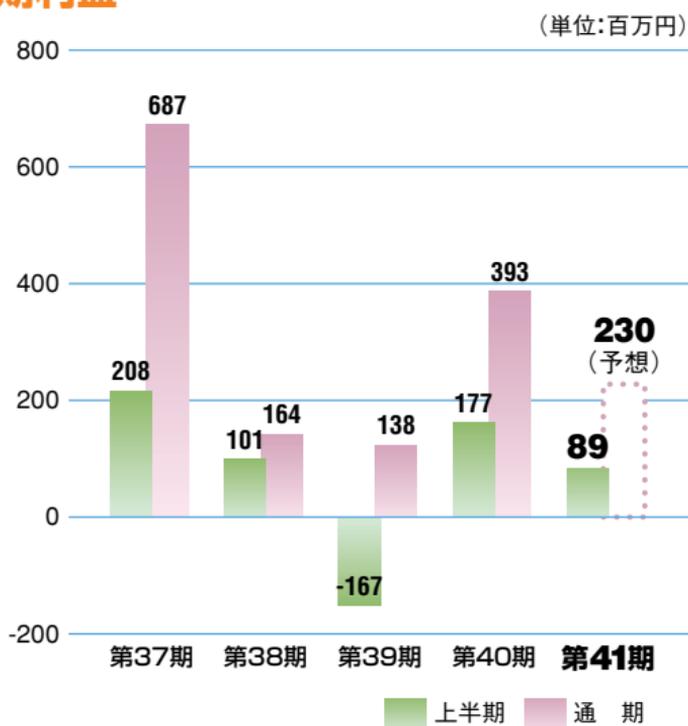
売上高



經常利益



当期利益



貸借対照表

中間貸借対照表 (平成13年9月30日現在)

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成13年9月30日)	前年中間期 (平成12年9月30日)	前期 (平成13年3月31日)
(資産の部)			
流動資産	6,499,220	6,737,190	6,999,581
現金及び預金	1,198,180	1,367,562	1,405,258
受取手形	1,243,707	1,885,528	1,350,804
売掛金	1,920,421	1,714,633	2,221,774
棚卸資産	1,922,848	1,528,592	1,794,155
繰延税金資産	185,175	184,427	218,708
その他	60,011	70,846	47,683
貸倒引当金	△ 31,124	△ 14,400	△ 38,803
固定資産	3,414,483	3,224,611	3,343,488
有形固定資産	(2,970,455)	(2,771,287)	(2,898,175)
建物	619,677	572,528	644,213
土地	1,604,099	1,604,099	1,604,099
その他	746,677	594,659	649,862
無形固定資産	(3,005)	(3,005)	(3,005)
投資その他の資産	(441,022)	(450,317)	(442,306)
投資有価証券	170,092	181,075	173,556
関係会社株式	50,000	50,000	50,000
その他	246,203	253,518	249,193
貸倒引当金	△ 25,273	△ 34,276	△ 30,444
資産合計	9,913,703	9,961,801	10,343,070

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	当中間期 (平成13年9月30日)	前年中間期 (平成12年9月30日)	前 期 (平成13年3月31日)
(負債の部)			
流動負債	4,929,177	5,189,451	5,335,505
支 払 手 形	2,457,231	2,252,288	2,688,203
買 掛 金	736,248	653,262	847,309
短 期 借 入 金	1,000,000	1,300,000	830,000
1年以内返済予定の長期借入金	390,520	412,050	375,520
未 払 法 人 税 等	66,725	163,737	377,477
賞 与 引 当 金	86,067	111,654	102,562
そ の 他	192,385	296,458	114,432
固定負債	338,386	503,362	340,506
長 期 借 入 金	147,680	338,200	160,960
繰 延 税 金 負 債	18,011	53,553	39,275
退 職 給 付 引 当 金	172,654	111,577	140,229
そ の 他	41	31	41
負 債 合 計	5,267,564	5,692,813	5,676,011
(資本の部)			
資本金	1,247,395	1,172,495	1,247,395
資本準備金	1,190,355	1,069,955	1,190,355
利益準備金	95,608	85,258	85,258
その他の剰余金	2,104,718	1,912,906	2,129,176
任 意 積 立 金	1,888,006	1,588,193	1,588,193
中間(当期)未処分利益	216,711	324,712	540,982
その他有価証券評価差額金	8,062	28,373	14,873
資 本 合 計	4,646,139	4,268,988	4,667,058
負 債 資 本 合 計	9,913,703	9,961,801	10,343,070

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書／新製品のご案内

中間損益計算書 (平成13年4月1日～平成13年9月30日)

(単位：千円)

科目	当中間期 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前年中間期 自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	前期 自平成12年4月1日 至平成13年3月31日
(経常損益の部)			
営業損益の部			
営業収益	4,778,458	4,575,901	9,828,167
売上高	4,778,458	4,575,901	9,828,167
営業費用	4,592,249	4,215,374	9,020,240
売上原価	3,714,123	3,421,199	7,403,007
販売費及び一般管理費	878,125	794,175	1,617,233
営業利益	186,208	360,527	807,926
営業外損益の部			
営業外収益	16,458	19,988	39,589
営業外費用	19,365	33,466	60,751
経常利益	183,302	347,049	786,764
(特別損益の部)			
特別利益	12,850	11,153	156
特別損失	23,530	41,778	76,005
税引前中間(当期)純利益	172,622	316,424	710,915
法人税、住民税及び事業税	66,083	163,737	380,843
法人税等調整額	17,147	△ 24,666	△ 63,552
中間(当期)純利益	89,391	177,353	393,623
前期繰越利益	127,320	147,359	147,359
中間(当期)未処分利益	216,711	324,712	540,982

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

Introduction of New Products

高精度加工で新分野を拓く!!

新商品

SX-07

[SX-07]



この度当社が新しく開発致しました「SX-07」を紹介させていただきます。

当機は、低価格、高精度、高機能、省スペースの2スピンドル1タレット小型高精密旋盤です。従来の当社機に比べ、熱による影響を少なくし、経時変化を小さく致しました。そのため精度の要求される小物部品の加工に優れていて、当社製品の主要販売先である自動車業界の小型部品に対応するほか、IT関連業界の部品生産にも対応しています。

「SX-07」は、10月17日(水)～20日(土)に名古屋で行われたメカトロテックジャパンで初披露致しました。初日は雨となりましたが、週末には天候が回復し、4日間での総入場者数は8万人にもなりました。当社ブースにも多くのお客様が訪ねてこられ、「SX-07」を含む当社の機械に多大なる関心を頂き、多くの引合いを受ける事ができました。

また、10月26、27日には大阪で、11月9、10日には群馬でプライベートショーを行い、「SX-07」を紹介させて頂きました。

今後も多くの場所で紹介し、「TAKAMAZのSX-07」を売り出していきたいと思います。



会場での当社ブース風景

会社の概況 (平成13年9月30日現在)

会社概要

商号 高松機械工業株式会社
設立 昭和36年7月
資本金 12億4,739万円
本社 石川県松任市旭丘1丁目8番地
従業員数 279名
ホームページアドレス <http://www.takamaz.co.jp>

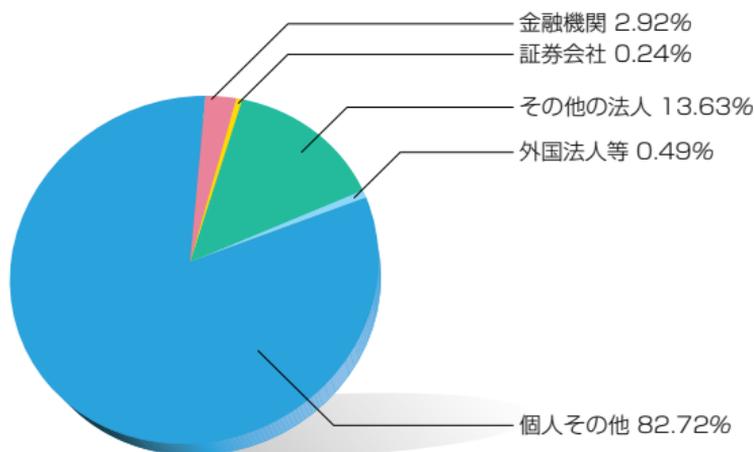
株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数18,000,000株
- ②発行済株式総数8,350,000株
- ③株主数411名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
高松喜与志	869	10.41
高松機械工業社員持株会	586	7.02
川江豊吉	582	6.97
名古屋中小企業投資育成株式会社	416	4.99
日本生命保険相互会社	400	4.79
高松邦	346	4.15
株式会社北国銀行	340	4.07
三井海上火災保険株式会社	340	4.07
北国キャピタル株式会社	301	3.60
明治生命保険相互会社	300	3.59

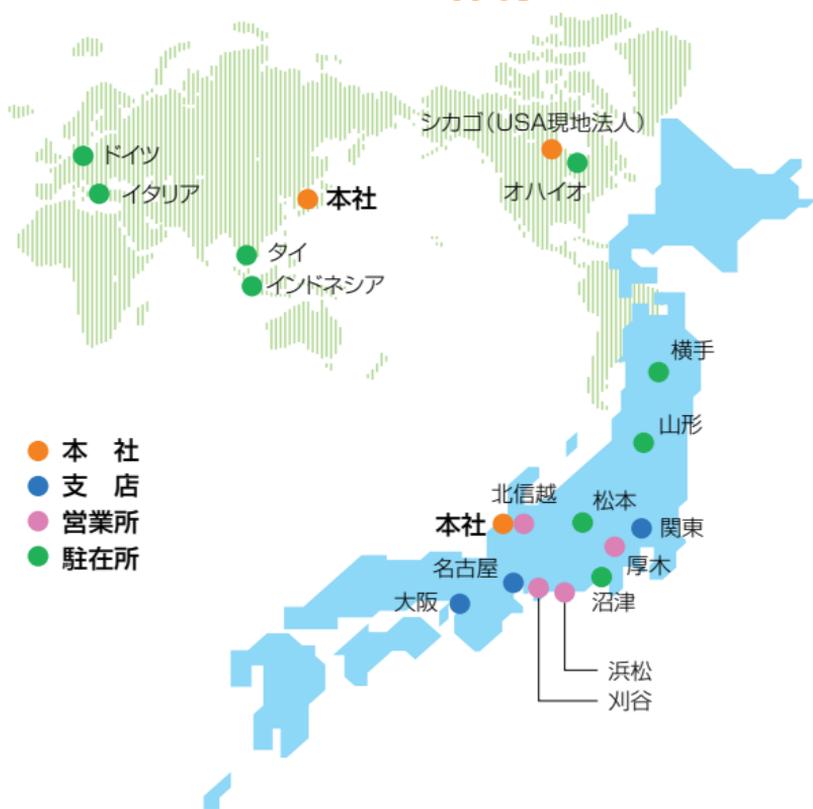
株式の分布状況(所有者別)



役員

代表取締役会長	川 豊 吉
代表取締役社長	高 松 喜与志
常務取締役 (技術担当)	前 田 充 夫
常務取締役 (営業担当)	中 西 与 平
取締役 (品質保証部長)	上 田 十世光
取締役 (生産本部長)	池 上 佳 信
取締役 (営業本部国内営業部長)	川 上 友 安
取締役 (管理部長)	溝 口 清
取締役 (産機部長)	水 上 喜 義
常勤監査役	岡 田 武 男
監査役	田 井 正 樹
監査役	田 中 幹 則
監査役	谷 口 郁 朗

ネットワークとサービス体制



ISO9001



JQA-1989

ISO14001



JQA-EM1138

当社はISO (国際標準化機構) 9001・14001を、両システム規格共に国内でトップシェアを誇る審査機関であるJQA ((財)日本品質保証機構)の認証で取得しています。

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日 (2) 利益配当金 3月31日 (3) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社証券代行部
(郵便物送付先) 電話照会先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社証券代行部 ☎0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-176-417 (その他のご照会) 自動音声認識装置による24時間対応
同 取次所	住友信託銀行株式会社全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
お問い合わせ先	管理部 TEL 076-274-1410〈直通〉 FAX 076-274-1418

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

